

令和7年1月8日



武南高等学校進路通信 第10号

進路指導部

共通テスト直前注意

～「**自信**」を持って臨もう！ ただし「**慎重**」に！～

共通テスト本番を迎えるにあたって ～個別入試においても～

(1)本番までにやっておくこと

○「受験上の注意」を熟読せよ！

受験票と同時に配付された「受験上の注意」の冊子を必ず熟読し、当日の流れを確認しておきましょう。「知らなかった」「読んでいなかった」は一切通用しません。

<特に確認すべきこと>

○当日の持ち物のこと

受験場の注意のチェックリストで確認しておきましょう。

毎年、「時計」を忘れて困ったという人がいます。(試験会場には時計がありません。)

○試験中の注意のこと

試験中、机に出してよいものは？

○試験当日の万一の事故や体調不良の場合などの確認

手続きの流れをあらかじめ確認しておきましょう。

○受験票の準備

写真を添付し、記名をする欄があります。試験当日の朝に慌てることのないように事前に準備しておきましょう。

○試験会場の確認

人によって試験会場が異なります。

試験会場への行き方を「複数」確認しておきましょう。当日電車の遅延などもありうるので、必ず複数の路線を調べておきましょう。

○開始時刻について

理科や社会を2科目登録した人は、必ず2科目受験となります。1科目しか使わないからとって、**途中で入室や退室はできません**。必ず指定された時間で受験してください。

☆先に受けた方の科目が、自動的に第1解答科目となります。

(2) 落ち着いて、「基本的なこと」を確実に

○緊張しているときこそ注意

模擬試験での状況を見ると、記名や受験科目のマークミスが多く見られます。本番は何も考慮されません。緊張した中ですが、最新の注意を払いましょう。

<起こりうること>

社会や理科などの受験科目のマークの忘れやダブルマーク

「数学ⅠA」を解くはずが、最初のページ「数学Ⅰ」を解いてしまう。→表紙の注意をよく読むこと

※どの科目も該当ページをよく確認すること！

科目によっては旧課程用の問題も含まれているので問題冊子の表紙の注意事項をよく読む！

指示を聞く前に、リスニング機器の操作をしてしまう。

○休み時間の過ごし方

休み時間は、普段の模試と比べて長いです。同じ部屋に友人がいても、おしゃべりなどをせずに次の試験に向けて使い慣れた参考書などを読みながら落ち着いて過ごしましょう。

(3) 自己採点について

○自己採点は、2日間の試験をすべて終えてから！

2日間受験する人は、1日目終了時に自己採点をすると、点数が悪いと焦りを感じ、良いと油断するなど、精神的な動揺につながり、2日目に影響が出ます。すべて試験を終えてから自己採点をしましょう。1科目1科目の気持ちの切り替えが鍵を握ります！

○1点の誤差でも命取り！～約4人に1人が10点以上の誤差?!～

ベネッセの情報によると、11月マーク模試の自己採点で約4人に1人が実際の得点と10点以上の誤差があることがわかっています。本番でも毎年5人に1人が自己採点ミスをしているという情報もあります。国公立や一部の私大では、自己採点の情報で出願を決めていきます。十分注意しましょう。

1月20日(月) 1・2限に学校で自己採点会をします。

自己採点会に必要なもの:問題冊子、タブレット、自己採点システムのIDとパスワード

※先日事前登録した自己採点システムにスムーズに入れるように確認をしておきましょう。

自己採点日は必ず登校しましょう。担任の先生と今後のスケジュール確認、相談をして後悔のない出願をしてきましょう。